

令和3年度第3回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	令和4年1月21日（金）午前10時～ 多度地区市民センター3階305会議室
出 席 者	委員：8名 事務局：12名
議 事 次 第	1. 開会挨拶 2. 議事 （1）水道料金の改定について （2）答申（案）について （3）その他 3. 閉会挨拶
要 旨	<p>1. 開会挨拶 開会后、上下水道部長より挨拶</p> <p>2（1）水道料金の改定について 事務局より、前回の経営審議会において委員からの質問についての報告、前回料金改定前の決算と令和2年度決算の数値の比較、料金改定案A・Bの内容について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会の後に、市議会全員協議会において料金改定案A・案Bとの比較で、どちらが望ましいかという意見はあったのか。 ⇒こちらが良いというような特段の意見はない。 ・水量の関係だと6～7割は13・20mmを使用している一般市民であり、基本料金の改定率が高い料金改定案Aの方が、世帯人数が少ない方が負担増であり、料金改定案Bの方が公平感があると思うがいかがか。 ⇒今後、管路や施設を整備していくには、広く浅く市民・事業者から料金を負担していただく必要があると考えており、節水や人口減少等で使用水量が減っていく傾向であることから、基本料金を上げていきたいと考えている。 ・施設の整備の関係で基本料金の割合を高くしているとのことだが、管路の更新の計画は1%で、これ以上増やさないということだと、基本料金を上げることはあまり関係がないと思う。 ⇒管路の更新は経営戦略で1%と目標を立てており、それと今後発生する施設の更新も見込んで、10%増の料金改定案となっており、管路更新率をもう少し高めようとする10%増の改定案では足りない状況となる。 ・料金改定案Aか案Bの中で、今回だけでなく経営戦略にも明記されている令和7年度にも値上げの議論をしなければならないと思うが、今回は基本料金を次回は従量料金を高く上げた場合に、将来的な収支の影響は出たりするのか。 ⇒基本料金と従量料金の率を変える場合は、試算をした上で同じような額で、提案をしていくことになると考えている。 ・今回や次回改定時にも、基本料金の方を重点的に上げていく予定であるのか。

⇒経営戦略においては、基本料金を若干高めに考えているが、今回料金改定案Aになったとしても、次回についてはその時の考え方になってくると思う。

・管路について今後も1%更新を行っていくということだが、施設の改修が終われば、1%以上に進んでいくという認識でいいのか。

⇒現在は100年の耐用年数がある管が出てきており、100年間で一巡できる1%を最低限のラインとして頑張っていきたいと考えている。

・前回の答申書の附帯意見に計画的な施設の更新や地震等の災害対策を着実に実施することや、老朽管を計画的に更新することが書かれているが、平成29年に料金改定をしたことで、現状と比較してどの程度変わったのか。

⇒管路の耐震化率は、平成27年度で18.1%、令和2年度は21.6%で、1年で0.8%くらいで更新している。大規模施設は1ヶ所に集中して大きな費用がかかるということで、上野浄水場について令和元年度から庁内で会議を継続して行っており、来年度以降実施に向けた検討の予定である。

・老朽管の更新は地域住民にとっては大切であり、南海トラフ地震も30年の間に70%の確率で起こるとされている中で、古い管が地震に耐えられるのか。計画的な施設の更新や地震等の災害対策を着実に実施するとか、老朽管を計画的に更新するという文言を答申書に確実に挙げてもらうことを前提として地域住民に理解を求めることが必要。

・値上げをしたことで、どういう負担になっているか市民に丁寧に説明する必要がある、それによって市民も一定の負担をしても水道を守っていかなければという意識に繋がっていくと思う。また、水道料金の負担拡大に対して他の政策で補うということが桑名市で行われているのか聞きたい。

⇒前回の答申時には、生活保護世帯への減免、天災、その他特別の事情がある方への減免がなかったことから追加するとともに、生活が困っている方が相談してくれば、分割払い等で対応している。

・企業の立場からすると料金改定案Bの方が負担が大きくなる。どちらかという小世帯に重きを置くが、企業の立場を考えることも大事であり、慎重にそれぞれの立場を検討しながら議論していかなければと思う。

・審議会としては、水道事業に持続性のある社会システムとして維持するための経営を考えなければならない。老朽化の問題も避けては通れないことから、今回は基本料金を中心に上げていく。ただし、どのように改善されていくかを行政側に強く求めていく附帯意見を付けて、料金改定案Aを中心に正副会長で答申案を作成し、各委員にも逐次意見を頂く形で検討していきたい。

(全委員了承)

(2) その他

事務局より、今後の審議会の予定について連絡

3. 閉会挨拶

上下水道部長より挨拶

(以上)